



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊

「クルマを捨ててこそ地方は甦る」 藤井聡 著 (PHP 新書)



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



前号につづいての「交通」をテーマにした書籍を選んでしまうのは、ちょっと後ろめたさがあるのですが、けっこう刺激的に思えるタイトルに惹かれてしまったものでお許しください。著者が言う「クルマが必需品と勘違い」しているのは、私だけではないはず。特に群馬県人の多くは、そう感じているのでは?

本書ではクルマがもたらす害について、個別に列挙しているのですが、昨年実施したオープンハウスで来場者に説明した内容がそのまま出ているのには驚きます。

先進事例は有名どころ(富山・京都・川越)なので、ちょっと手が届くようなケースには感じられませんが、逆に高いレベルの参考としては、おもしろく読めます。

全体的に群馬県人には、「夢物語」や「別世界の話」のイメージを持つ内容かも知れませんが、県でも「群馬県交通まちづくり戦略(仮称)」を策定し、クルマを「必需」から「選択肢のひとつ」にできるような取り組みを進める予定です。(詳細はP2・3へ)

“未来の群馬”をイメージしたい方は、ぜひご一読を!

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

藤岡市 都市施設課 松田 拓也



松田 拓也さん



講座の様子

読者の皆さん、こんにちは。平成29年7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けました藤岡市都市施設課の松田です。

「ファシリテーターとは何をする人?」言葉の意味もわからないまま、まちづくりの分野に興味があったという理由で、群馬県が開催したまちづくりファシリテーター認定のための6日間の講座に申し込みました。

講座を受講し、ファシリテーターとは「促進者」という意味で、会議やミーティングの場で発言や参加を促し、場の流れを整理して、

参加者の認識の一致を確認する役割であることを知りました。また、一緒に受講した仲間達と実際にまち歩きを行い、そのまちについて思うことや、今後より良いまちづくりを行うためにはどのようなことが考えられるかを話し合いました。話し合いでは多くの意見が出され、私が考えつかない意見もあり勉強になりましたが、ファシリテーターの立場になるとそれらの意見を整理していくことに一苦労しました。

6日間の講座を修了すると、受講前と比べ、会議における考え方が大きく変わり、意見が出しやすい場づくりや、場の流れを整理することを意識するようになりました。現在は庁内の会議でファシリテーター役を積極的に担うよう心掛けていますが、今後は経験を積み重ね、ファシリテーターとしての活躍の場を広げていきたいと思えます。

マーチィの掲示板

まっちい〜ズがハッ場ダム・上信自動車道の現場に行ってきました!



工事が進むハッ場ダム本体

群馬県内の山沿いに雪が降った11月21日(火)、ハッ場ダムと上信自動車道の工事現場に行ってきました。

ハッ場ダムは、平成31年度の完成を目指し工事が進められています。24時間体制で毎日300~400人の方が作業に携わっているという現場では、群馬県外ナンバーの工事車両も見かけられました。ダム周辺では地域振興を考えた整備を行い、秋には紅葉、そして春には桜の名所にしようと現在、募金をもとに桜の苗木を植えているとのこと。工事中はいかに人工物であるダムも、完成後には時間とともに自然の風景と馴染んでいくと思われます。

帰りには上信自動車道の工事現場を見学。この道路ができることで、ハッ場ダムや草津温泉など高速道路から時間がかかった場所が近くなります。今回は、部分的に工事が行われている現場を数箇所まわり、盛土をしている様子を見たり、橋脚を建設したときの工法などを関係者の方から聞いたりしました。完成前の道路の上に立つことは初めてで、道が繋がり、そこを車で通ることを想像すると、完成が待ち遠しくなりました。

公共工事の現場を実際に見る機会はなかなか無く、出来上がってから利用すると当たり前になってしまうものです。今回の見学でたくさんの方が関わって作られるダムや道路に、より関心を持つようになりました。ハッ場ダムでは見学会も行われているので、みなさんもぜひ参加してみたいはいかがでしょうか。



上信自動車道金井陸橋の工事現場

